

English and American Studies

JOURNAL OF THE GRADUATE SCHOOL
KYOTO WOMEN'S UNIVERSITY

No.23

CONTENTS

[Articles]

“Come Ho, and Wake Diana”: the Divine Feminine
and the Solar Allegory in *The Merchant of Venice*
..... Marianne Kimura ... 1

Existence, negation and negative existentials: The singular/
plural distinction in negative existentials in English
..... John Campbell-Larsen ...25

[Notes for Contributors]51

[Reports]57

[Editor's Postscript]58

Kyoto, Japan

2024

英語英米文学論輯

京都女子大学大学院文学研究科研究紀要

二〇二四年 京都女子大学

京都女子大学大学院文学研究科研究紀要

英語英米文学論輯

第23号

目次

[論文]

“Come Ho, and Wake Diana”: the Divine Feminine
and the Solar Allegory in *The Merchant of Venice*
..... Marianne Kimura... 1

Existence, negation and negative existentials: The singular/
plural distinction in negative existentials in English
..... John Campbell-Larsen...25

[投稿規程]51

[彙報]57

[編集後記]58

京都女子大学

2024

『英語英米文学論輯』投稿規程

1. 投稿者は次のとおりとする。
 - 1) 京都女子大学大学院文学研究科英文学専攻担当教員
 - 2) 京都女子大学大学院文学研究科英文学専攻所属学生
 - 3) 京都女子大学大学院文学研究科英文学専攻を修了・退学した者
 - 4) その他、編集委員会の認めた者
2. 論文は、英語圏の言語・文化・文学および比較言語・比較文化・比較文学に関する研究の未発表のものとする。(ただし口頭で発表したものはその旨を明記すれば可。)投稿に際して、捏造、改ざん、盗用、多重投稿等の研究不正行為をしてはならない。
3. 日本語原稿要領
 - 1) 長さは、注 (Notes [end notes])、引用文献一覧 (Works Cited) を含めて、16,000字(40字×25行×A 4 版用紙に16枚)程度とする。印刷原稿2部(コピー可)を提出する。
 - 2) 外国語の固有名詞は原則としてカタカナ表記とし、初出時に原綴を括弧に入れて添える。
 - 3) 引用文は原則として原語とし、訳は添えない。また翻訳を使用する場合は翻訳者、出典を明示する。
 - 4) 注は原稿の末尾に付して提出し、脚注として印刷する。注番号は裸数字で1、2、3、と表記する。
 - 5) 引用文献一覧を必ず付す。論文の体裁、引用、後注、引用文献一覧、その他については、MLA方式かAPA方式の最新版マニュアル、または、いずれかの全国・海外学術誌の書式に従うものとする。
 - 6) 原稿には投稿者の氏名を記載せず、別紙に氏名、住所、メールアドレス、論文のタイトルを記載したものを一部のみ原稿に添付すること。
4. 英語原稿要領 (“Notes for Contributors” を参照のこと)
 - 1) 長さは、注 (Notes [end notes])、引用文献一覧 (Works Cited) を含めて、

8,000words(65strokes × 25lines, 27pages)程度とする。印刷原稿 2 部(コピー可)を提出する。

- 2) 注は原稿の末尾に付して提出し、脚注として印刷する。注番号は裸数字で 1、2、3、と表記する。
- 3) 引用文献一覧を必ず付す。論文の体裁、引用、後注、引用文献一覧、その他については、MLA 方式か APA 方式の最新版マニュアル、または、いずれかの全国・海外学術誌の書式に従うものとする。
- 4) 原稿には投稿者の氏名を記載せず、別紙に氏名、住所、メールアドレス、論文のタイトルを記載したものを一部のみ原稿に添付すること。
5. 投稿希望者は9月30日までに仮題目と予定頁数を添えて編集委員会に申し込む。
6. 投稿締切日は後日、編集委員会から連絡する。投稿された原稿の採否は査読委員の審査によって決する。採用が決定した後、修正したデジタルデータを提出する。
7. 最終原稿の提出締切は12月7日。提出後における訂正は原則として認めない。執筆者による校正は再校までとし、誤植の訂正程度にとどめること。
8. 執筆者には抜き刷り30部が無料配布されるものとする。
9. 投稿原稿は、封筒表に京都女子大学大学院紀要と朱書し、裏面に投稿者の住所氏名を明記して提出すること。提出は京都女子大学大学院『英語英米文学論輯』編集委員会とする。

住所 〒 605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町 35 番地

京都女子大学大学院文学研究科英文学専攻

『英語英米文学論輯』編集委員会

封筒には『英語英米文学論輯』原稿と朱書すること。

郵送以外の送付方法に関しては、編集委員会の指示に従うこと。

10. 本誌に掲載された論文等については著作権の複製権・公衆送信権を京都女子大学大学院文学研究科(英文学専攻)及び京都女子大学に許諾するものとする。但し、著作権の移動はなく、著者は両者、或はいずれか一方への許諾

をいつでも取り消すことができる。

本誌に掲載された著作物の全文又は一部を電子化し、京都女子大学学術情報リポジトリサーバ或はその他のコンピューターネットワークで公開することがある。

附則

平成14年制定

平成21年2月1日一部改訂

この規程は2020（令和2）年10月31日から施行する。

English and American Studies
Notes for Contributors

1. Contributions will be accepted from the following:
 - 1) Faculty of the Graduate School of the Department of English Letters (Studies) of Kyoto Women's University.
 - 2) Students belonging to the Department of English Literature, Graduate School of Letters, Kyoto Women's University
 - 3) Graduates of the Department of English Literature, Graduate School of Letters, Kyoto Women's University and former students who withdrew from the graduate program.
 - 4) Others approved by the editorial board
2. The submission shall be an unpublished study of English-speaking languages, culture and literature and comparative language, comparative culture and literature. (However, if you make an oral announcement, you can specify that fact.) When posting, you must not commit research misconduct such as forgery, falsification, plagiarism, or multiple postings.
3. English manuscript guidelines
 - 1) The length should be about 8,000 words (65 strokes × 25 lines, 27 pages) including notes (Notes [end notes]) and citation list (Works Cited). Submit two copies of the printed manuscript (photocopy is acceptable).
 - 2) Submit the note at the end of the manuscript and print it as a footnote. Note numbers are bare numbers and are written as 1,2,3.
 - 3) Be sure to attach a list of cited references. The format, citations, postscripts, citation list, etc. of the dissertation shall be in accordance with the latest version of the MLA or APA manual, or the format of either national or overseas academic journal.
 - 4) Do not include the name of the contributor in the manuscript but attach a

separate sheet to the manuscript with the name, address, e-mail address, and title of the paper.

4. Applicants who wish to submit will apply to the editorial board by September 30 with a tentative title and the planned number of pages.
5. The editorial board will inform you of the submission deadline at a later date. The acceptance or rejection of the submitted manuscript will be decided by the review of the peer review committee. After deciding on acceptance, you will be asked to submit in digital format.
6. The deadline for submitting the final manuscript is December 7. In principle, corrections after submission will not be accepted. Proofreading by the author should be limited to the second proofreading and correction of typographical and layout errors.
7. 30 copies shall be distributed free of charge to the author.
8. Submit the manuscript in an envelope and mark envelope with the bulletin of the Kyoto Women's University Graduate School, in red and specify the poster's address and name on the back. The submission will be made by the editorial board of Kyoto Women's University Graduate School *English and American Studies*.

The address is

35, Imakumano Kitahiyoshi-cho,

Higashiyama-ku,

Kyoto 605-8501

Kyoto Women's University Graduate School of Letters, Department of English Literature, *English and American Studies* Editorial Committee

On the envelope, write the manuscript of *English and American Studies* in red.

9. Papers submitted to this journal may be electronically transmitted in other formats. Permission to reproduce any published material must be obtained

in advance from the Graduate School of the Department of English Letters of Kyoto Women's University and Kyoto Women's University. Because the author retains the copyright, he or she may cancel these arrangements with the English Literary Society of Kyoto Women's University and Kyoto Women's University.

Kyoto Women's University reserves the right in certain instances to make this material (in whole or in part) available to Kyoto Women's University's electronic archives or other affiliated information repositories.

Supplementary provisions

Established in 2002

Partially revised on February 1, 2009

This regulation will come into effect on October 31, 2020 (Reiwa 2).

〔彙報〕

2023年度の文学研究科英文学専攻（博士前期・後期課程）の動向を報告します。

2023年9月1日現在 在籍者

博士前期課程・後期課程ともにゼロ

行事

2023年11月25日 京都女子大学英文学会 2023 年度大会

I. 総会（13：00～13：15）

開会の辞 会長 松原 史典

議事 1. 会計報告 中村 善雄
2. 今後の英文学会について 松原 史典

II. 研究発表（13：20～14：45）

1. 谷 光生（京都女子大学准教授）（13：20～14：00） 司会 中村 善雄
「Frost's "Stopping by Woods" and New Hampshire: Uncovering the Hidden Depths of "Four"」
2. 木村 マリアン（京都女子大学教授）（14：05～14：45） 司会 莊中 孝之
「"Juliet is the Sun" in the Land of the Rising Sun」

III. シンポジウム（14：55～17：25）

テーマ：「変わる学びと変わらぬ学び — 〈英文学〉のこれから」

司会 佐伯 恵子
鴨川 啓信

講師：

下村 伸子（京都女子大学名誉教授）
高橋 勝忠（京都女子大学名誉教授）
武田 美保子（京都女子大学名誉教授）
大西 祥恵（京都女子大学大学院博士後期課程修了生）
金澤 哲（京都女子大学教授）

IV. 閉会の辞 学科長 莊中 孝之（17：30～17：35）

編 集 後 記

◇京都女子大学大学院文学研究科紀要英文学専攻『英語英米文学論輯』第23号をお届けいたします。

◇本号の編集委員は次の1名です。

鴨川 啓信 (本学教授)

◇本号の査読委員は次の2名です。(五十音順)

鴨川 啓信 (本学教授)

松原 史典 (本学教授)

◇本号の執筆者は次の2名です。(掲載順)

Marianne Kimura (本学教授、英文学領域)

John Campbell-Larsen (本学教授、英語学領域)

◇新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが変わり、いわゆるコロナ禍も終息したと言えるのでしょうか。11月には英文学会大会を対面で開催することができました。残念ながら、今年度の大会が京都女子大学英文学会主催行事の最後となります。谷光生先生と木村マリアン先生の研究発表、そして下村伸子先生、高橋勝忠先生、武田美保子先生、大西祥恵先生、金澤哲先生(発表順)が講師をつとめられましたシンポジウム、どれも興味深い内容で、充実した時間を過ごすことができました。ご退職された先生方や卒業生・修了生、学部学生が多く参加した大盛況と言える会でした。

また、本誌につきましても、今号が最終号となります。今回論考を寄せて下さった木村マリアン先生、ジョン・ラーセン先生、そしてこれまで投稿して下さいました皆さま、丁寧な査読を行って下さった先生方、本当にありがとうございました。

英文学会閉会や学術雑誌の発行状況など、大きな変化に直面しておりますが、それぞれの専門分野の研究の意義や楽しみを見失うことなく、研究活動・教育活動を続けていきたいものです。

(K. H.)

英語英米文学論輯 京都女子大学大学院研究紀要
文学研究科英文学専攻

2024年（令和6年）3月15日発行
第23号

編集 京都女子大学大学院文学研究科
英文学専攻（博士後期課程）

発行 京都女子大学
〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35
電話 075-531-7051（代表）

印刷者 株式会社 昭英社
〒600-8119 京都市下京区五条通河原町西入ル
電話 075-351-1811（代表）
